

白衣の スパイ ハム?

謎の病に侵された世界で、奇病の原因を探りに出る3人の科学者たち——。観客を不思議な世界にいざなう「湘南テアトロ☆デラルテ」の公演は笑いと感動を観客とともに作ります。現実とは違う世界が広がる劇場に足を踏み入れてみませんか。

目次

1～3面…**特集** 劇場で味わう臨場感…市民演劇フェスティバルと出演する劇団を紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉・スポーツ
「子どもの健康」「お知らせ掲示板」など

8面…「写真リポート」「がんばれ湘南ベルマーレ」
「フォト歳時記」「市長こらむ」
広報ひらつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。

劇団きさく座
演劇集団群生
劇団カレーライス
湘南テアトロ☆デラルテ
東海大学総合アートコビトカバ団
神奈川大学湘南ひらつかキャンパス演劇部 Move and Act Players

劇場で味わう臨場感

市内で活動する劇団の発表の場として平成14年から始まった市民演劇フェスティバル。15回目を迎える今回は6劇団が9月24日(土)・25日(日)に中央公民館で演じます。

まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237

劇団きさく座

「演じてみたい」

その思いで始まって20年

「そこは舞台の中央に動いて」「柔らかな表情で」

中央公民館小ホールで熱気を帯びた稽古に励む劇団きさく座の劇団員。9人の劇団員は毎週3回、仕事や家事が終わった後の午後7時から稽古をしています。

「年をとっても若い人の役を演じられるところがお芝居の良いところよね」と同劇団



動きや時間構成などを繰り返し稽古する高橋さん(左から2人目)ら劇団員

の代表で、演劇フェスティバルの実行委員長を務める高橋

行恵さんは話します。中学校・高校と演劇部で活動し、卒業後は東京舞台芸術学院に進学。しかし、結婚後は家事や育児などで演劇の舞台から離れていました。演劇を離れて22年間、忙しい日々を過ごしていた時に、ふと目にとまった広報ひらつかの「ワークショップ演劇」の記事。「プロの先生から教わる演劇講座に「演じてみたい」という思いがよみがえりました」と当時を振り返ります。

家族の後押しもあって、受講したワークショップ。40人の芝居好きが集まりました。「ワークショップが終わって、『このまま終わるのはもったいないね』と、平成9年に受講者の有志で立ち上げたのが「劇団きさく座」です。ワークショップ受講者全員で演じた「木の咲くとき」という作品

名と、「きさく」に芝居ができるようにとの思いでつけた劇団名。「舞台に立つことは諦めていたけど、ワークショップで芝居好きな仲間に出会って、大好きな芝居を続けることができている」と笑顔を見せます。

演劇フェス初開催

きさく座を立ち上げて5年目。課題は発表の場が少ないことでした。公演できる場所は、市民センターや中央公民館の大ホールに限られ、使用料も負担となっていました。

「もつと多くの方に見てもらいたい」。高橋さんは市内で活動する二つの劇団に合同公演を呼び掛けたところ、意気投合。まちづくり財団の支

援もあり、平成14年に中央公民館で市民演劇フェスティバルを初めて開催しました。第3回からは東海大学や神奈川大学の演劇サークルも参加するなど、規模が広がる中で、劇団きさく座は唯一、第1回から毎年参加しています。「それぞれの劇団の演出と役者が一堂に見られるのは市民演劇フェスティバルしかありません」と高橋さんは力を込めます。

活動を支えて集大成

きさく座は劇中のメロデーや効果音を電子オルガンで演奏しています。音楽を演奏する佐竹夏恵さんは「せりふの中に音が入るので、邪魔をしないように演劇を引

平塚でいつでも見に行ける劇場を

湘南テアトロ☆デラルテ

代官町にある稽古場「湘南アトリエ」。本格的な照明やセットが並び、湘南テアトロ☆デラルテの劇団員が本番さながらの稽古に励みます。「学



稽古の成果を見せたいと水野さん(左)

生時代を過ごした湘南で演劇を志す人たちのサポートをしたかったんです」。俳優・声優・演出家としてテレビ・舞台などで活躍する同劇団代表の郷田ほづみさんは、平成11年に俳優学校「湘南アクトアズ」を立ち上げました。その後、ダンスや声優のクラスを開講するなど、現在では2歳・60歳代の150人程度が受講しています。12年に演劇部門を独立し、22年には「湘南テアトロ☆デラルテ」に劇団名を変更しました。「公演はできる限り多くの



役者としても舞台に立つ石井さん

き立たせるのは大変。でも演劇と音楽が融合した時は、この上ない喜びなんです」と話します。

今回の市民演劇フェスティバルで演じる「ゴールド・デイズ」の脚本を担当する石井健二さんは、シナリオコンクールを受賞歴もあります。「お客さんがくすつと笑って、共感できるような作品を目指しています」と語ります。脚本づくりは日常生活からヒントを得ていると言う石井



自分が舞台に立ったつもりで演出すると言う郷田さん

役者に出演してもらっています」と話します。郷田さん。20人が所属する同劇団は毎月末の土・日曜日にマンズリーシアターを湘南アトリエで開催。朗読会や即興演劇など、毎回、趣向を凝らしています。「公演では毎回のように初舞台の役者がいます。同じ作品を公演する場合でもメンバーを変えていくことで、役者の刺激にもなるし、リピーターの方にも楽しんでいただけますから」と話します。劇団立ち上げ当時から所属する役者の水野理紗さんは

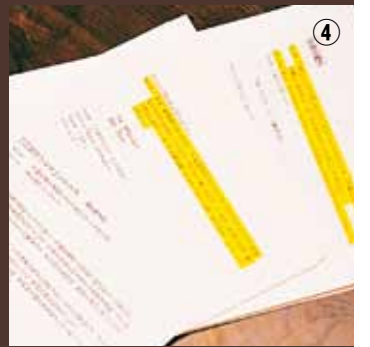
「脚本を読んだ時に、演じる役がどういう気持ちなのか、それをどう表現するかをイメージしています」と話します。水野さんは数多くのアニメで声優としても活躍するほか、市民演劇フェスティバルで公演する作品「幻覚カプセル」では、オーディオドラマの脚本・構成も手掛けてい

さん。「シナリオを考えている時が好きなんです。自分で考えた話に1人で笑ってしまいうこともありますよ」。1時間の演目の脚本は原稿用紙60枚にも上ります。脚本を役者が立体的にすることで別のアイデアが出て、さらに上積みされていく。こうしてみんなで作ることが楽しいんです」とほほ笑みます。

きさく座は来年20周年を迎え、平成29年5月には記念の単独公演を中央公民館で予定しています。高橋さんは20年続いた劇団をこれからも続けていきたいと話します。「劇団員はみんな趣味を超えて稽古に励んでいます。演劇の楽しさをお客さまに伝えられるような公演をしていきたい」と意気込みます。



手作りの演劇
そこには
笑いと感動が
詰まっている



①出演しない役者も真剣なまなざしで稽古を見つめる②豊富に取りそろえた背景幕や舞台セットを組み立てる③本番さながらの舞台セットで稽古④幻覚カプセルで流れるオーディオドラマの台本⑤アドリブを入れた舞台上で観客を引き込む⑥手の込んだ舞台セットで作品の雰囲気を演出⑦コメディ作品を中心に上演する。最後には感動のシーンも⑧演劇フェスティバルではオムニバスコントを上演



湘南テアトロ☆デラルテ

15年目の幕が上がる
第15回湘南ひらつか 市民演劇フェスティバル

中央公民館 午後0時30分開場 1日券500円(全席自由)。チケットは市民センターなどで販売しています。

9月24日(土)

- 1時 劇団きさく座「ゴールド・デイズ」
- 2時15分 演劇集団群生
「チェーホフ作“三人姉妹”の市民劇団上演奮闘録」(右写真左)
- 3時30分 湘南テアトロ☆デラルテ「幻覚カプセル」

9月25日(日)

- 1時 劇団カレーライス
「However with Vampire～青きプリマドンナ～」(右写真右)
- 2時15分 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス演劇部
Move and Act Players「博士と呼ばれた男～アプリオリの真実～」
- 3時30分 東海大学総合アートコピトカバ団「透明人間になれたなら」



☎ まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237

肌で感じるライブ感

家でテレビやインターネットを楽しむことができる時代に、わざわざ劇場に足を運んで見る演劇はマイナー文化だと郷田さんは言います。「それでも足を運ぶからこそ役者の演技を目の前で見、同じ空気を吸って、笑ったり泣いたり

ます。「公演する作品はコメディが多いので、客席の反応が分かりやすくダイレクトに返ってきます。演劇を始めたころは怖かったお客さまの反応も、今では現場の熱を共有できる楽しみになっています」とほほ笑みます。

家でテレビやインターネットを楽しむことができる時代に、わざわざ劇場に足を運んで見る側も日常的なものにしていきたいと郷田さんは話します。「まずは地元の方にもっと見てもらい、育ててもらいたいです。そして、平塚に劇場があることで地域活性化につながると思います」とほほ笑みます。

り役者に感情移入できる。エンターテインメントを楽しむと同時に、一つの体験として元氣を与えられる劇場にしたいですね」と力を込めます。舞台から伝わってくる空気を肌で体感できる演劇。劇場には、テレビドラマや映画とは違う臨場感があります。同劇団の目標は、毎日演劇が見られる場所をつくること。演じる側も見る側も日常的なものにしていきたいと郷田さんは話します。「まずは地元の方にもっと見てもらい、育ててもらいたいです。そして、平塚に劇場があることで地域活性化につながると思います」とほほ笑みます。

募集

応募方法は
下段

地方卸売市場の運営審議会の公募委員

2人(選考)。任期は12月1日から2年間。

次の条件を全て満たす方①市内に1年以上在住②12月1日現在、20歳以上75歳③平日に開く審議会に出席できる④他の付属機関などの委員ではない⑤以前に同委員になったことがない。

〒254-0803 千石河岸28-11 農水産課 ☎21-2066 や市ウェブなどにある申込書に、800字程度の応募動機を添えて、郵送または直接、10月17日(月)までに、同課へ。

子ども大学ひらつか

東海大学の講師による、理科実験講座です。

11月19日・26日の土曜日、全2回、午前10時30分～午後2時30分。東海大学湘南キャンパス(北金目4-1-1)。保

スポーツ・サッカー教室

各全8回。小雨決行。馬入ふれあい公園サッカー場(中堂246-1)。先着順。詳しくは同公園ウェブをご覧ください。

①未就園児親子スポーツ 10月5日～12月14日の水曜日、午前10時30分～11時20分。市内在住の2・3歳の未就園児と保護者2人1組で25組。

②親子サッカー 水曜日コースは10月5日～12月14日、金曜日コースは10月7日～12月9日、午後3時10分～4時10分。市内在住の年少・年中と保護者2人1組で30組。

③レディースサッカー 10月7日～12月9日の金曜日、午前10時30分～正午。市内在住・在勤の18歳以上の女性50人。

参加者全員の**必要事項**・年齢(②は希望コース・学年も)を、メールで、9月20日(火)正午から、馬入ふれあい公園サッカー場 ☎24-1137 ☒banyuu-soccer-ground@mf.scn-net.ne.jpへ。



親子でサッカーを楽しみませんか

護者が送迎し、両日とも参加できる市内在住の小学校4～6年生60人(抽選)。

子どもの氏名・性別・学校名・学年・保護者の**必要事項**を、はがき・ファクス・メールで、10月31日(月)までに、**社会教育課** ☎35-8123 ☒5522 ☒k-shakai@。34-5522 ☒k-shakai@。

再生家具を提供します

粗大ごみから再生可能な家具を修理・再生し、希望する方に提供します。1人1点。修理費用程度を負担。

10月1日(土)～7日(金) 午前9時～午後4時(7日は正午まで)に、四之宮7-3-5301で現物を確認後、申込書を直接、同プラザへ。

森の収穫祭

竹を使ったバウムクーヘン作りなどをします。

10月15日(土)午前9時30分

新聞紙でコサージュ作り

10月14日(金)午後1時～3時。リサイクルプラザ。15人(抽選)。新聞紙・タオル。

電話で、9月30日(金)までに、リサイクルプラザ ☎51-5301へ。

暮らしの講座

食品と放射性物質について、東海大学の講師が話します。意見交換会もあります。

10月20日(木)午前10時～正午。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方20人(先着順)。

講座名・氏名・電話番号を、電話・メールで、市民情

報・相談課 ☎20-5775 ☒jousou@。>

伊豆市ぎのこ祭

平塚市の友好都市である静岡県伊豆市の修善寺虹の郷で開かれる、ぎのこ祭に参加しませんか。ぎのこ加工品の展示・販売もします。

11月3日(祝)午前8時～午後5時30分。平塚駅北口NTTビル(明石町1-30)前集合・解散。市内在住・在勤・在学の方18人(抽選)。別途入場料がかかる場合があります。

人数(1組2人まで)・全員の**必要事項**・生年月日・年齢を、郵送・電話・ファクスで、10月3日(月)午後5時までに、〒254-0031天沼7-8平塚市都市提携委員会 ☎25-2520 ☒23-9467へ。

オータムジャンボ宝くじ

1等・前後賞合わせて

5億円

1等/3億円
前後賞/各1億円

発売期間
9/26(月)～10/14(金)

宝くじに関するお問い合わせ ☎03-3535-9085

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

公益財団法人 神奈川県市町村振興協会

犬の散歩マナー教室

10月9日(日)午前10時～正午。雨天の場合は29日(土)に延期。ひらつかサン・ライフアリーナ前の広場。1年以内に①狂犬病予防接種を受け、注射済票がある②ジステンパー!パルボなどのワクチン接種している犬20頭(先着順・飼い主1人につき1頭)。小学

10月4日(火)～6日(木)、全3回、午前10時～午後4時。勤労会館。市内または近隣市町村在住で、就労を希望する15～39歳の方15人(先着順)。

電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎04-65-32-4115へ。

国際理解を深める講座

「難民を助ける会」の会員が活動内容とシリア難民の現状などを話します。

10月3日(月)午後2時～3時45分。教育会館。30人(先着順)。

必要事項を、電話・ファクス・メールで、国連協会平塚支部 ☎25-2520 ☒24-3666 ☒koryu@。>

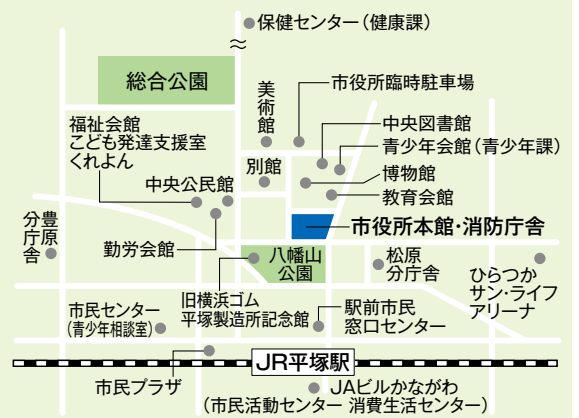
美術館で映画を上映

画家、藤田嗣治を描いた「F O U J I T A」を上映します。

10月15日(土)午前10時～、

応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、9月20日(火)午前8時30分から、受け付けます。
- メールでの応募の場合 ☒以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	〒	住所	〒
氏名	氏名	住所	住所
	電話番号	住所	住所
	電話番号	全員の氏名	全員の氏名
	その他の事項	電話番号	電話番号
		その他の事項	その他の事項

美術館のレストランを経営しませんか

美術館にあるレストランの経営や清掃などをします。平成29年4月1日(土)から。月額13万円。

詳しくは、美術館や同館ウェブにある募集要項をご覧ください。

美術館ウェブなどにある提出書類を、郵送または直接、10月28日(金)までに、〒254-0073西八幡1-3-3美術館 ☎35-2111へ。



明るい雰囲気のレストランです